

# 生研 ニュース

## 部 外 活 動

### 一 寄 稿

- ◇教授 久保田廣, 講師 小瀬輝次「不均質薄膜による反射防止」照明學會誌 24 卷 2 號
- ◇教授 久保田廣, 講師 小瀬輝次「連絡スペクトルの干渉」應用物理 18 卷 10~12 號
- ◇教授 久保田廣「位相差顕微鏡」日本物理學會誌 4 卷 4 號
- ◇教授 久保田廣「On the Interference Color of thin layers on glass surface」Journ. Opt. Soc. Amer-rca., 40 (1950) 146.
- ◇助教授 松下幸雄, 助手 森一美, 特研究生 阪上六郎 技研究生 鹽見純雄「熔融したスラッグの綜合研究 (II)」鐵と鋼 第 36 年 3 號 昭和 25 年 3 月
- ◇助教授 末岡清市「On Eigenvalues of incompletely Reducible Matrix」J. phys. Soc. Jap. 4. No. 4~6. July~Dec., 1949.
- ◇講師 渡邊勝「Ionization of Negative Oxygen Ion by Electron Impact, (I), (II)」J. phys. Soc. Jap. 4 No. 4~6. July~Dec., 1949.
- ◇講師 渡邊勝, 大學院特研究生 三井田純一「計算機」物理學會誌第 4 卷, 第 2~3 號, 昭和 25 年 3~6 月
- ◇教授 平田森三, 西本節雄 (農林省水産廳)「鯨族標識鉤の改良に關する研究」補鯨船舶裝備改善委員會報告.

### 一 講 演

- ◇助教授 末岡清市「ヒル型の一つの微分方程式について」日本物理學會應用數學力學音響分科會(1950・2・4)
- ◇助教授 小川岩雄, 聽講生 辻貞司「振動容量式電位計による固體表面電位の研究-II」日本物理學會物性論分科會 於東京工大 (1950・4・3)
- ◇助教授 大井光四郎「圓環殼の強度と變形について」應用力學會年會 (1950・4・16)
- ◇助教授 植村恒義「小型超高速顯微鏡カメラの試作」應用物理學會 (1950・4・27)
- ◇同上 「寫真用閃光電球の燃焼狀況の高速寫真」
- ◇同上 特研究生 歌川正博「超高速回轉圓盤の破壊について」
- ◇助教授 小川岩雄「振動容量式電位計の電極配置について」應用物理學會第 4 回學術講演會 (1950・4・27)
- ◇教授 久保田廣, 「干渉色, 特に鋭敏色について」應用物理學會 (1950・4・28)
- ◇講師 荒哲哉「波長型可變位相差顕微鏡」(1950・4・28)
- ◇助教授 鳥飼安生, 學生古谷勝美「固體中の衝擊超音波の測定」音響學會 (1950・5・15)
- ◇助教授 鳥飼安生, 特研究生 松澤喜一郎「眞鍮の振動彈性測定」音響學會 (1950・5・16)
- ◇教授 平田森三, 磯部孝 (東大一工) 西本節雄 (農林省水産廳)「鯨標識鉤の飛行について」應用物理學會, (第 4 回學術講演會)
- ◇教授 平田森三, 特研究生 寺尾宣三「ガラスの破斷強度について」同上
- ◇特研究生 寺尾宣三「速い破れ目の成長について」同上

### 編 集 後 記

◆本誌には「鎮夏特集號」と名をつけて見た。「鎮夏」とは夏の暑さを消却すること, あつさよけということである。まるで大衆雜誌につけたような名ではないか, 大體内容たるや暑苦しくてちつとあつさよけにならないではないか, とお叱りを蒙るかも知れない。

◆しかし, まさに暑苦しい。編集していてもそう思う。しかしながら考えても見よ。研究とはまさしくそういうものなのである。暑ければ汗水たらして防暑対策を考え, 骨身をけずつて天の災いに對處する。

◆藤高先生の「雷と送電線」渡邊先生の「氣候區と防暑対策」元良先生の「ヨットの帆の風洞實驗」と本誌にふさわしい快篇の續いたことを讀者とともに喜びたい。何卒上の含みをもつて玩味して下さい。

◆だが, この暑さに, 研究にも増して, わが國の産業を維持する生産の方々には辛かるうと思う。輸出貿易よとの掛聲に乗つて世界市場に再びまみえることのできたわが生産品に對して, 世界の批判の眼はさぞかし厳しいことだろう。よりよいものをより安く, 判りきつたことだが最も切實なことである。

◆本誌の編集方針もそろそろ大きく轉回する時がきたようである。もつと眼を廣く國の内外に鋭く向けて, あらゆる角度から「質」の向上をはからなければならぬ。それが生産の向上ひいてはわが國民の, 世界人類の幸福と平和への大いなる道に續いているのである。(Y. T.)

### 編 集 委 員

- |       |           |
|-------|-----------|
| 編集委員長 | 星 合 正 治   |
| 編集委員  | 丸 安 隆 和   |
|       | 鈴 木 弘 三   |
|       | 元 誠 一     |
|       | 星 野 昌 三   |
|       | 淺 原 照 三   |
|       | 松 下 幸 雄   |
|       | 小 糸 正 義   |
|       | * 富 永 一 郎 |
|       | * 鳥 飼 安 士 |
|       | 武 藤 義 一   |
| 編集幹事  | 下 村 潤 二 朗 |
| 編集室   | 水 野 晴 明   |
- (印は當番委員)

### 表紙説明:

風をはらんで涼味とスリルを十分満喫しつゝあるセーリングヨット。  
横濱市岡本造船所提供。

第2卷 第7號 生産研究 定價 70 圓 (郵税 3 圓)  
1950 年 6 月 25 日 印刷 1950 年 7 月 1 日 發行

編 集 者	星 合 正 治	印 刷 所	大 同 印 刷 株 式 會 社
	東 大 生 産 技 術 研 究 所		東 京 都 千 代 田 區 神 田 錦 町 3-1
	千 葉 市 千 葉 局 内 彌 生 町	發 行 所	株 式 誠 文 堂 新 光 社
	電 話 千 葉 3 6 6-3 7 0		東 京 都 千 代 田 區 神 田 錦 町 1-5
發 行 者	小 川 誠 一 郎		電 話 神 田 (25) 2 1 2 6-2 1 3 0
印 刷 者	井 關 好 彦		電 報 東 京 6 2 9 4・6 5 6 7